

1月度浜町支店安全会議 2025年1月11日（土）

議題1 大羽課長挨拶

新年あけましておめでとうございます。

業績は好調ですが荷動きは全国的に鈍い傾向です。

またインフルエンザが流行しておりますので体調管理に気を付けてください。



議題2 安全12項目動画

①交通事故に関わる運転者の心理的・生理的要因及びこれらの対処法

近年交通事故件数は減ってきておりますが、交通事故死者数が増加しております。

また、交通事故の違反項目として「速度超過・一旦不停止」が増加しております。

これらの要因は近年の効率化の流れによる「焦り」だと思われます。

焦ると自身の都合を考えた「だろう運転」になりやすく巻き込まれ事故にも繋がります。

「かもしれない運転」で自己防衛をしましょう。

運転時には焦らず必ず確認してから動作をしましょう。

運転に集中するためには「整理・整頓・清掃」が効果的です。

それらをやらされている心理ではなく、心を込めて行いましょう。



②事故を防ぐ為の具体的な確認動作

皆さんは確認をしようと言われたことがあると思いますがしっかりできていますでしょうか？

人間は確認するために2秒ほどかかるといわれております。

また、人間は「自身が動きながら他の動いているものを見るのが苦手」です。

なので、必ず停止して確認する時間をしっかり作って認知するようにしましょう。

また、慣れた光景は早く確認ができますが「いい加減」になりやすく見落としが多くなります。

慣れない光景は確認するのに時間がかかり、一点に注視してしまうことがあります。

その注意点を忘れず、しっかり確認して認知してから動作を行うようにしましょう。



③悪天候における走行の注意点

悪天候の際には視界が悪いことが多く自他ともに確認することが困難になります。

北海道での多重玉突き事故の映像ですが、ドラレコの運転手さんは速度を控えて車間距離を大幅に取り、事故現場手前で停車することができました。

残念ながら後続車に追突されてしまいましたでしたが加害者になることは回避することができました。

ですが、追越しをかけた車両は止まり切れず多くの車両が追突してしまう結果となりました。

吹雪や豪雨の際には認知するまでに時間がかかってしまうため

速度は通常の1/2程度にし、車間距離は2倍とるように心がけましょう。

また、昼間でもライトを点灯し自社の存在を知らせましょう。

今回のテーマ

悪天候における走行時の注意点



スリップにより30台以上の玉突き事故が発生



前方との車間距離を十分にとっている運転者

>> 悪天候における走行時の注意点



車間距離を確保していたため加害者になることは回避できた

悪天候時の速度と車間距離

車間距離：普段の2倍

速度：普段の速度の1/2



ライトを点灯して周りに存在を知らせること

議題3 雪道対策マニュアル

先日発生した寒波で道路に影響がでました。

再認識のため、アイスバーン・日陰などの凍結区間に十分注意しましょう。

冬対策として早めの出発・道路情報の確認・装備の確認をしっかり行いましょう。

積雪・凍結路の注意ポイント

<p>交差点</p> <p>タイヤがアイスバーンが覆われて、ツルツルになっていることが多い危険な場所。また、車の壁で交差点自体が見えないこともあるので注意しましょう。</p>	<p>坂道</p> <p>下り坂は止まりにくいので、事前に十分な減速を。上り坂では、発進時のアクセル操作を慎重にしましょう。</p>	<p>橋の上</p> <p>吹きさらしの橋面は、凍結している可能性が大。アイスバーンと心得て、通過は慎重にしましょう。</p>	<p>日影</p> <p>氷がいつまでも溶けずに残っている可能性が高い。細心の注意を払って、ゆっくり走りましょう。</p>
<p>カーブ</p> <p>過心で車は外へ外へと流れやすくなります。対向車にも気をつけましょう。</p>	<p>トンネルの出入口</p> <p>朝の明暗車道で先の状況が見えにくいため、路面状況の変化を予測したドライビングが必要です。</p>		

凍結路面 3つのパターン



最後に、3S宣言の唱和を行い本年無事故で頑張りましょう！



次回開催 2025年2月1日(土) 予定です。